



「報告書2008」(案)の構成について

2009年1月26日

内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)

<http://www.nisc.go.jp/>

○「報告書2008」(骨子案)

1. 技術戦略専門委員会報告書(2006)策定後の動向
2. 技術戦略専門委員会報告書(2008)策定の背景と目的
 2. 1 現状認識と今後の方向性
 2. 2 グランドチャレンジとは
 2. 3 情報セキュリティ分野におけるグランドチャレンジ型研究開発・技術開発
3. グランドチャレンジを実現するためのロードマップ
 3. 1 情報セキュリティ技術に関する将来予測
 3. 2 中長期的な研究開発プロジェクト管理のあり方
4. 中長期的な研究開発の実施方法
 4. 1 現状のプロジェクト管理・運営体制とその課題
 4. 2 プロジェクト管理・運営体制の改善の方向性
 4. 3 環境変化に対応できる継続的な研究開発プロジェクト管理のあり方
5. 情報セキュリティ技術に関する将来予測の進め方
 5. 1 将来予測の目的及び主な対象分野
 5. 2 将来の社会ビジョンと技術像の検討の手法
6. 将来の社会ビジョンと技術像
 6. 1 社会と技術の潮流予測
 6. 2 情報セキュリティ技術の発展方向予測
 6. 3 適用ニーズから整理した技術の方向予測
 6. 4 情報セキュリティ研究開発テーマの例

○「報告書2008」(案)

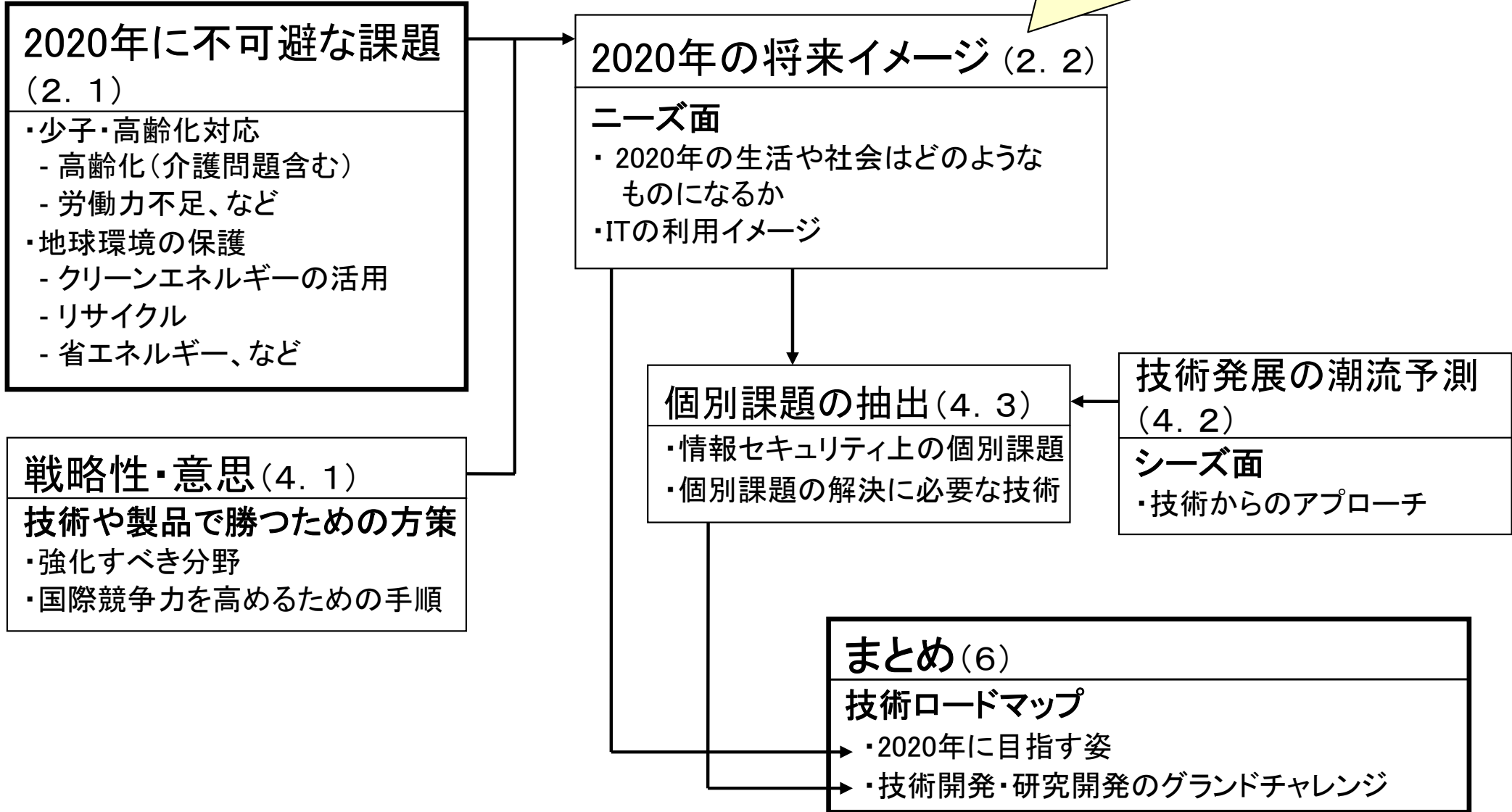
副題: 2020年情報セキュリティ技術開発ロードマップ

1. 技術戦略専門委員会報告書(2006)策定後の動向
2. グランドチャレンジで取り組むべき課題
 2. 1 2020年に不可避な課題
 2. 2 2020年の将来イメージ
3. グランドチャレンジを実現するためのロードマップ
 3. 1 技術戦略2020
 3. 2 中長期的な研究開発プロジェクト管理のあり方
4. 技術戦略2020
 4. 1 戦略性・意思
 4. 2 技術発展の潮流予測
 4. 3 個別課題の抽出
5. 中長期的な研究開発の実施方法
 5. 1 現状のプロジェクト管理・運営体制とその課題
 5. 2 プロジェクト管理・運営体制の改善の方向性
 5. 3 環境変化に対応できる継続的な研究開発プロジェクト管理のあり方
6. まとめ: 技術ロードマップ
 6. 1 2020年に目指す姿
 6. 2 技術開発・研究開発のグランドチャレンジ
 6. 3 研究開発プロジェクト管理のグランドチャレンジ

→ 骨子案の内容の見直し・拡張項目

● 骨子案の内容と同様の項目

このイメージの確からしさを、
どのように保証するかが課題



()内の数字は報告書の章や節に対応